

# 奈良県立医科大学附属病院治験審査委員会

## 【会議の記録の概要】

開催日時	2023年08月22日 15時00分～16時19分
開催場所	A棟2階 呼吸器・アレルギー内科医局 会議室
出席委員	室 繁郎、武田 真幸、田中 康仁、浅田 秀夫、藤本 清秀、杉江 和馬、高橋 裕、尾上 健児、池田 和之、川崎 祥記、竹村 京子、大前 壽子、池邊 寧
欠席委員	浅川 寿、北野 勝也、村井 裕司
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>議題1. ファイザー株式会社の依頼によるインヒビター保有または非保有の小児血友病患者を対象としたmarstacimab 定期投与第3相試験（整理番号：23-011） 治験実施計画書等に基づき治験の実施の妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題2. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるカルメット・ゲラン桿菌（BCG）未治療の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌（HR-NMIBC）患者を対象に、TAR-200とcetrelimabの併用投与又はTAR-200単独投与と、BCG膀胱内投与の有効性及び安全性を比較する、第3相非盲検多施設共同ランダム化試験（整理番号：23-012） 治験実施計画書等に基づき治験の実施の妥当性について審議した。 審査結果：修正の上で承認 ・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. 大原薬品工業株式会社の依頼によるHCV・HBV又はNASHに起因する非代償性肝硬変患者を対象としたホスセンビントの多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検比較試験（第II相）（整理番号：23-013） 治験実施計画書等に基づき治験の実施の妥当性について審議した。 審査結果：修正の上で承認</p> <p>議題4. アストラゼネカ株式会社の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたデュルバルマブ、Domvanalimab（AB154）の第III相試験（整理番号：23-014） 治験実施計画書等に基づき治験の実施の妥当性について審議した。 審査結果：修正の上で承認 ・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題5. MSD株式会社の依頼によるMK-3475 第II相試験（整理番号：15-015） 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・藤本 清秀委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題6. エーザイ株式会社の依頼による腎細胞癌を対象としたE7080、MK-3475の第3相試験（整理番号：17-019） 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 概要書、添付文書及び安全性情報の提供終了についてのレターの発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 審査結果：承認</p>

・藤本 清秀委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 7. アッヴィ合同会社の依頼による M14-431 試験又は M14-433 試験を完了したクローン病患者を対象としたウパダシチニブ (ABT-494) の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照維持療法及び長期継続投与試験 (整理番号: 17-028)  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

議題 8. アッヴィ合同会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験 (整理番号: 18-006)  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
概要書第 9 版に対する補遺 1 の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 9. MSD 株式会社の依頼による高リスク筋層非浸潤性膀胱癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験 (整理番号: 18-022)  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
被験者への支払いに関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 10. ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社の依頼による A PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMOD を経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第 2/3 相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験 (整理番号: 19-006)  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

議題 11. MSD 株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-7339 の第 III 相試験 (整理番号: 19-008)  
治験期間の延長に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 12. MSD 株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験 (整理番号: 19-009)  
ワンタキソテル添付文書の改訂に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果: 承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 13. MSD 株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験 (整理番号: 19-010)  
実施計画書 (英語版、和訳版) の改訂に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について

て審議した。  
 審査結果：承認  
 ・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 14. MSD 株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験（整理番号：19-013）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認  
 ・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 15. 協和キリン株式会社の依頼による早発型重症妊娠高血圧腎症患者を対象とした KW-3357 の第Ⅲ相ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験（整理番号：19-022）  
 被験者への支払いに関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認

議題 16. アステラス製薬株式会社の依頼による Zolbetuximab の第 II 相試験（整理番号：19-025）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 実施計画書（英語版、和訳版）の改訂、分担医師の削除に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認  
 ・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 17. MSD 株式会社の依頼によるホルモン感受性前立腺癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験（整理番号：19-032）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 実施計画書明確化のためのレターの発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認  
 ・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 18. MSD 株式会社の依頼による根治不能／非転移性の肝細胞癌患者を対象にペムブロリズマブ、レンバチニブ及び TACE の併用療法の第Ⅲ相試験（整理番号：20-001）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認  
 ・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 19. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 2b/3 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：20-002）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 被験者への支払いに関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認

議題 20. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による進行肝細胞癌を対象とした BMS-936558/BMS-734016 の第 3 相試験（整理番号：20-004）  
 安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
 審査結果：承認

・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 21. バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした高用量アフリベルセプトの第Ⅱ／Ⅲ相試験（整理番号：20-006）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 22. メドアライアンス ジャパン株式会社の依頼による浅大腿動脈から膝窩動脈病変を対象とした MDK-1901 の臨床試験（整理番号：20-008）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 23. バイエル薬品株式会社の依頼による滲出型加齢黄斑変性患者を対象に高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性を検討する無作為化二重遮蔽実薬対照第Ⅲ相試験（整理番号：20-009）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 24. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による抗うつ薬で効果不十分な大うつ病性障害患者を対象に BI 1358894 経口投与の有効性、忍容性及び安全性を評価する6週間の第Ⅱ相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、プラセボ対照、クエチアピン群を伴う並行群間比較試験（整理番号：20-012）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
実施計画書の改訂、分担医師の削除、分担医師のタスクの変更に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

治験実施状況報告書の提出があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 25. 日本イーライリリー株式会社の依頼による NNS/CANDLE、SAVI、及び AGS を有する患者を対象とした LY3009104 の第Ⅱ/Ⅲ相試験（整理番号：20-019）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 26. ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたニボルマブ又はプラセボとドセタキセルの併用療法の第Ⅲ相試験（整理番号：20-022）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 27. (治験国内管理人) 株式会社新日本科学 PPD の依頼による HELIOS-B: 心筋症を伴う ATTR アミロイドーシス患者を対象とした ALN-TTRSC02 (Vutrisiran) の第Ⅲ相試験（整理番号：20-027）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
実施計画書（英語版、和訳版）の改訂、概要書第5版に対する補遺（英語版、和訳版）の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・尾上 健児委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 28. ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による非アルコール性脂肪肝炎患者を対象とした NN9535 の第Ⅲ相試験（整理番号：20-029）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 29. (治験国内管理人) PRA ヘルスサイエンス株式会社の依頼による成人成長ホルモン分泌不全症の患者を対象とした lonapegsomatropin の第 3 相試験（整理番号：20-031）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・高橋 裕委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 30. テルモ株式会社の依頼による腹膜透析療法施行中の慢性腎不全患者を対象とした TCD-58205 の第Ⅲ相試験（整理番号：20-032）

症例数追加に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 31. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による膀胱全摘除術を受けていない筋層浸潤性膀胱尿路上皮癌（MIBC）患者を対象として、TAR-200 と Cetrelimab を併用したときの有効性を同時化学放射線療法と比較する第 3 相、多施設共同、ランダム化試験（整理番号：20-034）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 32. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による Iclepertin の統合失調症患者を対象とした第 III 相試験（CONNEX-2）（整理番号：21-002）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 33. キッセイ薬品工業株式会社の依頼による Bacillus-Calmette-Guerin (BCG) 不応の筋層非浸潤性膀胱がん（NMIBC）患者を対象とした CG0070 の第 III 相試験（整理番号：21-003）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・藤本 清秀委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 34. サノフィ株式会社の依頼による治療歴のある重症血友病 A 患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第 VIII 因子 Fc - フォンヴィレブランド因子 - XTEN 融合タンパク質（rFVIII-Fc-VWF-XTEN；BIW001）の長期安全性及び有効性を検討する第 III 相非盲検多施設共同試験（整理番号：21-004）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 35. MSD 株式会社の依頼による腎細胞癌患者を対象とした MK-6482 の第Ⅲ相試験（整理番号：21-010）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・藤本 清秀委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 36. 中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの第 III 相継続投与試験（整理番号：21-015）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 37. Fortrea Japan 株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリマブ及び enfortumab vedotin の第 III 相試験（整理番号：21-016）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

enfortumab vedotin 概要書（英語版、和訳版）の改訂に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 38. アストラゼネカ株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした brazikumab の第 2 相試験（整理番号：21-017）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 39. MSD 株式会社の依頼による腎細胞癌患者を対象とした MK-6482 または MK-1308A の第 III 相試験（整理番号：21-019）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・藤本 清秀委員・武田真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 40. アストラゼネカ株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象に、brazikumab の長期安全性を評価する非盲検継続投与第 2 相試験（EXPEDITION OLE）（整理番号：21-021）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 41. 【医師主導治験】尾上 健児による慢性心不全患者に対する HUCV002-01 静脈投与療法の有効性及び安全性を検討する多施設共同第 IIb 相医師主導治験（整理番号：21-024）

直接閲覧結果報告に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・尾上 健児委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 42. 【医師主導治験】杉江 和馬による筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者を対象としたボスチニブ第 1/2 相試験（整理番号：21-025）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

直接閲覧結果報告に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

- ・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 43. アムジェン株式会社の依頼による Efavaleukin Alfa (AMG 592) の第Ⅱ相試験 (整理番号: 21-026)

実施計画書 (英語版、和訳版) の改訂、Country-specific protocol supplement for Japan (英語版、和訳版) の発行、同意説明文書の改訂、治験参加カードの改訂に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

議題 44. グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による胆汁うっ滞性そう痒症を伴う原発性胆汁性胆管炎 (PBC) 患者に対する Linciclib 長期投与時の安全性及び忍容性を検討する前期第Ⅲ相試験 (整理番号: 22-001)

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

議題 45. MSD 株式会社の依頼による腎細胞癌に対する術後補助療法における MK-6482 と MK-3475 の併用療法の第Ⅲ相試験 (整理番号: 22-003)

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 46. (治験国内管理人) サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社の依頼による IgA 腎症の治療における sibirpenlimab 試験 (整理番号: 22-004)

症例数の追加、データ安全性モニタリング委員会勧告書 (英語版、和訳版) の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

議題 47. アストラゼネカ株式会社の依頼による局所肝細胞癌患者を対象としたデュルバルマブとトレメリマブの第Ⅲ相試験 (整理番号: 22-005)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 48. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による Iclepertin の統合失調症患者を対象とした第Ⅲ相継続試験 (CONNEX-X) (整理番号: 22-006)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

議題 49. (治験国内管理人) サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会社の依頼による IgA 腎症の治療における sibirpenlimab の第Ⅱ/Ⅲ相治験 (整理番号: 22-007)

データ安全性モニタリング委員会勧告書 (英語版、和訳版) の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果: 承認

議題 50. 中外製薬株式会社の依頼による悪性腫瘍患者を対象としたマスタースクリーニング試験/中外製薬株式会社の依頼による局所進行切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌患者を対象としたアレクチニブ、エヌトレクチニブ、プラルセチニブの第Ⅰ-Ⅲ相試験 (整理番号: 22-008)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
コホート A2 へのスクリーニング及び登録終了に関するレター（英語版、和訳版）の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 51. (治験国内管理人) 株式会社アイコン・ジャパンの依頼による KAIZEN：ペリフェラルオービタルアテレクトミーの安全性及び有効性評価（整理番号：22-009）

当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 52. (治験国内管理人) PRA ヘルスサイエンス株式会社の依頼による成人成長ホルモン分泌不全症の患者を対象とした lonapegsomatropin の第 3 相継続投与試験（整理番号：22-012）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
実施計画書明確化のための Note to file（英語版、和訳版）の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・高橋 裕委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 53. 帝人ファーマ株式会社の依頼による慢性流涎症（唾液過多）患者を対象とした NT 201 の非盲検、非対照試験（整理番号：22-013）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 54. ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による多発性硬化症を対象とした LOU064 の第Ⅲ相試験（整理番号：22-014）

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 55. ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による大うつ病性障害を対象した MIJ821sc の第Ⅱ相試験（整理番号：22-015）

実施計画書明確化のためのレターの発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

議題 56. フェリング・ファーマ株式会社の依頼による日本人の BCG 不応性高グレード筋層非浸潤性膀胱癌（NMIBC）患者に対する FE 999326 の膀胱内注入療法における安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相オープン試験（整理番号：22-016）

同意説明文書の改訂、Qlife 導入による被験者募集の手順（広告等）に関する資料 8 種の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。

審査結果：承認

・藤本 清秀委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 57. ヴィアトリス製薬株式会社の依頼による日本人の大うつ病性障害（MDD）又は持続性抑うつ障害（PDD）の小児外来患者を対象としたベンラファキシンの有効性及び安全性を評価するプラセボ対照無作為化二重盲検多施設共同試験（整理番号：22-019）



安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
分担医師の削除に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 58. ヴィアトリス製薬株式会社の依頼による VENL-CAZ-3001 試験を完了した日本人の  
大うつ病性障害 (MDD) 又は持続性抑うつ障害 (PDD) の小児外来患者を対象とした、ベンラ  
ファキシンの安全性及び有効性を評価する非盲検多施設共同長期継続投与試験 (整理番号：  
22-020)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
分担医師の削除に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 59. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による JNJ-78934804 の後期第 II 相試験 (整理番  
号：22-024)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
実施計画書明確化のためのレター (英語版、和訳版) の発行に伴い、引き続き治験を実施  
する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 60. 中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした  
R0686461 (ファリシマブ) の第 III 相試験 (整理番号：22-025)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 61. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による肛門周囲瘻孔を有するクローン病患者を  
対象とするゲセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 III 相試験、ランダム化、プ  
ラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験 (整理番号：22-026)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 62. 武田薬品工業株式会社の依頼によるステロイドパルス療法で効果不十分な自己免  
疫性脳炎患者を対象に NPB-01 の有効性及び安全性を評価する第 III 相比較試験 (整理番号：  
22-027)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 63. MSD 株式会社の依頼によるシスプラチン不適応又はシスプラチンを拒否した筋層浸  
潤性膀胱癌 (MIBC) 患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチン  
(EV) とペムブロリズマブの併用療法を検討する第 III 相試験 (整理番号：22-028)

安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 64. 日本メジフィジックス株式会社の依頼による虚血性心疾患が疑われる患者を対象  
とした NMB58 の後期第 II 相試験 (整理番号：22-029)

IC 補助説明資料の発行に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

・尾上 健児委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 65. サノフィ株式会社の依頼による免疫性血栓性血小板減少性紫斑病患者を対象とした一次治療に血漿交換を用いないカプラズマブの第Ⅲ相試験（整理番号：23-001）  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 66. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による膀胱全摘除術に不適格である，又は膀胱全摘除術を選択しなかった，カルメット・ゲラン桿菌（BCG）膀胱内注入療法に不応性の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌（NMIBC）患者を対象として，TAR-200 と Cetrelimab の併用，TAR-200 単独，又は Cetrelimab 単独の有効性及び安全性を評価する第 2b 相臨床試験（整理番号：23-002）  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・藤本 清秀委員・武田 真幸委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 67. サノフィ株式会社の依頼による血友病の男性被験者を対象としたフィツシランの第Ⅲ相試験（整理番号：23-004）  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 68. シミック株式会社の依頼による Efficacy and safety of gadopiclesol for Magnetic Resonance Imaging (MRI) in Japanese adults and children Phase III Clinical Trial 日本人成人及び小児を対象とした磁気共鳴画像法（MRI）における gadopiclesol の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相試験（整理番号：23-006）  
分担医師の削除に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 69. 武田薬品工業株式会社の依頼による慢性炎症性脱髄性多発根神経炎患者及び多巣性運動ニューロパチー患者を対象とした TAK-771 の第 3 相試験（整理番号：23-007）  
安全性情報について報告があり、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認  
・杉江 和馬委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題 70. アッヴィ合同会社の依頼による軽度アルツハイマー型認知症患者を対象とした ABBV-552 の第Ⅱ相試験（整理番号：23-008）  
Asian PK 試験 M23-512 試験結果概要（英語版、和訳版）の発行、分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

議題 71. MSD 株式会社の依頼による肝硬変前の非アルコール性脂肪肝炎 (nonalcoholic steatohepatitis: NASH) 成人を対象に MK-6024 を投与した際の有効性及び安全性を評価する後期第Ⅱ相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験（整理番号：23-010）  
同意説明文書の改訂、患者注射日誌（Part-1～Part6）の改訂に伴い、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。  
審査結果：承認

#### 【報告事項】

- 18-005 治験の終了について報告があった。
- 20-023 治験の中止について報告があった。

特記事項	オンラインにて開催
------	-----------